

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">生活科学 B</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文1回生 文学部英米1回生 文学部文財1回生 人間人社1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">吉井 典子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>”暮らし”の質的向上を目指して。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>”暮らし”を科学的な視点でとらえ、生活を取り巻く物質的環境と社会的な存在としての人間との関わりを考える。</p>		
<p>評価方法</p> <p>筆記テスト、出席状況で評価する</p>		
<p>テキスト</p> <p>「私たちの生活科学」</p>	<p>著者</p> <p>中根芳一編著</p>	<p>出版社</p> <p>理工学社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p> <p>木村 汎編著</p>	<p>出版社</p> <p>相川書房</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後期の授業と評価について 2. 少子高齢化を考える 3. 家庭崩壊と病理現象 4. 既婚子女と親との同居、別居 5. 家族援助と子育て支援 6. 暮らしと福祉 ー介護を考えるー 7. 公的介護保険 8. 外国の福祉事情 9. 暮らしの向上をめざして ー食生活領域ー 10. 暮らしの向上をめざして ー衣生活領域ー 11. 暮らしの向上をめざして ー住生活領域ー 12. 暮らしの向上をめざして ーその他の領域ー 13. コンピュータ発明の背景 14. コンピュータと家庭生活 15. まとめとテスト <p>生活、人間関係、家族、結婚、環境、女性の自立、老人介護などについて講義する。できるだけ身近な問題を取り上げ、生活全般に対して理解を深めるよう講義したい。</p>		